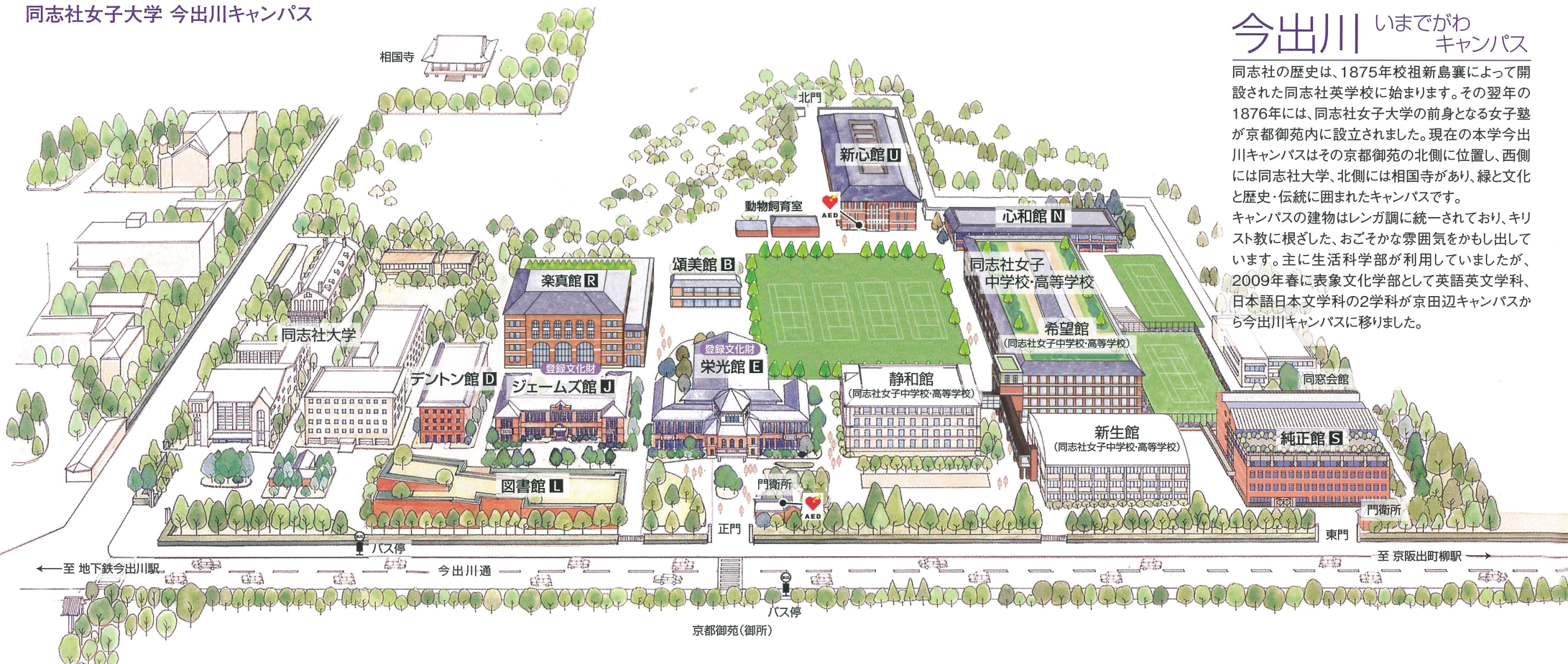


同志社の歴史は、1875年校祖新島襄によって開設された同志社英学校に始まります。その翌年の1876年には、同志社女子大学の前身となる女子塾が京都御苑内に設立されました。現在の本学今出川キャンパスはその京都御苑の北側に位置し、西側には同志社大学、北側には相国寺があり、緑と文化と歴史・伝統に囲まれたキャンパスです。

キャンパスの建物はレンガ調に統一されており、キリスト教に根ざした、おごそかな雰囲気をかもし出しています。主に生活科学部が利用していましたが、2009年春に表象文化学部として英語英文学科、日本語日文学科の2学科が京田辺キャンパスから今出川キャンパスに移りました。



栄光館 登録文化財 **E**
1932年(昭和7年)デントン先生と知友のファウラー家の寄付を基金に同窓会の醸金、同志社の三者によって建てられた本学の象徴的な建物。著名な建築家、武田五一の設計。約1,600人収容できるファウラーチャペル(講堂)、瞑想室、事務室等があり、講堂にはカナダ・カサバン社製のパイプオルガンが設置されています。毎日の礼拝をはじめ、入学式、卒業式、創立記念行事、キャンドルライトサービス等が行われます。

ジェームズ館 登録文化財 **J**
1914年(大正3年)デントン先生の知人であるジェームズ家の財政的援助をうけて建てられたレンガ造2階建の本学で最も古い建物。栄光館同様、武田五一の設計。事務室や講義演習室が配置されており、在学生のラウンジ等も備えるコミュニティセンターとなっています。

図書館 **L**
わが国でも珍しい地下式図書館。屋上には芝生が一面に張り巡らされていて、キャンパス全体の景観を損なわないよう配慮されています。座席数180席、蔵書数約19万3千冊を有します。

デントン館 **D**
永年にわたり本学に多大なる貢献をされたメアリー・フローレンス・デントン先生を記念し、デントン先生と友好関係にあったジェームズ財団の援助を受け建設された建物。表象文化学部関連の施設、事務室等があります。

楽真館 **R**
4階建、地下1階の建物。ラーニング・コモンズ、国際交流関連の施設に加えて、講義室、演習室、人間生活学科関連の施設、事務室等が設けられており、学生の能動的な学修の拠点となっています。

頌美館 **B**
2階建、地下1階の建物。事務棟として機能しています。

純正館 **S**
南側に地上5階、地下1階建の教室棟(講義室、情報処理室、演習室、事務室等)、北側に地下通路でつながる半地下の多目的施設(アリーナ、ホール、トレーニングルーム等)が配置され、最上階には屋上庭園やアカデミックラウンジ、パソコンカフェを設置しています。

心和館 **N**
2階建、地下1階の建物。地階に食堂、キャンパスストア、地上階にラウンジ、課外活動関連施設、保健室、事務室等があります。

新心館 **U**
3階建、地下1階の建物。食物栄養科学科関連の施設が配置されています。

◎アルファベットは各館の略号を表します。



Doshisha Women's College of Liberal Arts

IMADEGAWA CAMPUS

G U I D E
M A P